



問い合わせ先

第八管区海上保安本部

広報地域連携室 大戸・田中・坪内

電話 0773-76-4100 (内線 2111・2117・2118)

平成30年4月25日

第八管区海上保安本部

ゴールデンウィーク中のマリンレジャーを安全に！ ～GWにおける海の安全推進活動について～

ゴールデンウィーク期間中は、マリンレジャー活動の活発化に伴い、海難が多発します。マリンレジャーで楽しむ場合は、以下のことに心がけましょう。

なお、八管内での海難の特徴は、船舶海難の7割以上がプレジャーボート事故で、人身海難の6割以上が釣り中の事故です。特に、中京・阪神、山陽地方（管外）からの来訪者による事故が多いです。このため、八管区では、ゴールデンウィークにおける海の安全推進活動に力を入れていきます。

[GW安全推進活動期間：平成30年4月28日（土）～5月6日（日）]

マリンレジャーを楽しまれる方は、次の事項に注意！

◇ プレジャーボート：航行時、常時見張りの徹底など「自船の安全確保3か条」の実践 [資料1]

小型船用携帯マリンハザードマップの活用 [資料2]

◇ 釣り人：出かける前や釣り中における気象・海象情報の入手

◇ マリンレジャー全般：自己救命策3つの基本

ライフジャケットの着用、連絡手段の確保、海の緊急通報118番

◇ 「海の安全情報」の活用、緊急情報配信サービスへの登録 [資料3]

(事前に登録されたメールアドレスに海上保安庁が発表する緊急情報や気象庁が発表する気象警報・注意報等の情報がメール配信されます。)

第八管区海上保安本部の主な活動内容

[活動予定：資料4、昨年の活動状況：資料5]

◎ プレジャーボートの事故防止

出航前の早朝現場指導、海上における海難防止指導（特にミニボート、ゴムボート等）

◎ 釣り中の海難防止

釣具店・釣り場等における海難防止指導、遊漁船等への安全啓発

◎ 旅客船等の海難防止

遊覧船や旅客船等の安全点検、海難防止指導

GW期間中における海難の特徴

[GW期間中の海難状況：資料6]

☆ 船舶海難の7割以上は、プレジャーボート事故!（管外居住の船長による事故が6割以上）

プレジャーボート事故の内訳は、衝突（23%）、乗揚（19%）、転覆（19%）

☆ 人身海難の6割以上が、釣り中の事故!（管外居住者による事故が5割以上）

釣り中の事故内容は、帰還不能（73%）、海中転落（27%）

※ 第八管区では、過去5年間に発生した事故状況から、事故傾向について分析を行い、季節毎にシーズンレポートとしてとりまとめ、本結果を基に海難防止啓発活動を推進し、安全意識の向上を目指しています。

[資料7]

小型船舶の船長さんへ

以下の3つの事項を実践して、自船の安全を確保しましょう！

自船の安全確保3か条

その1 発航前、機関や燃料等の点検の実施

その2 航行時、常時見張りの徹底

その3 故障時に備え、救助支援者の確保



⚠ 発航前 … 機関や燃料等の点検の実施

発航前は、船体とエンジン周り、燃料の量、バッテリーの状態を点検するとともに、最新の気象・水路情報等を入手しましょう！



⚠ 航行時 … 常時見張りの徹底

航行時は、他の船舶の動向や浅瀬・定置網など周囲の水域の状況を継続して把握する必要があることから、常時適切な見張りを実施しましょう！



⚠ 故障時に備え … 救助支援者の確保

事故で最も多いのが機関故障！発航する際は、万が一の機関故障の発生に備え、仲間の船やマリナー等の救助艇による救助体制をあらかじめ確保しておきましょう！また、併せて入航時刻等を家族やマリナー等へ連絡しておきましょう！



※ 水上オートバイは民間救助組織の対象外の場合がありますので注意しましょう。

故障時に備え、救助支援者の確保を！

1 発航前の仲間や家族への連絡



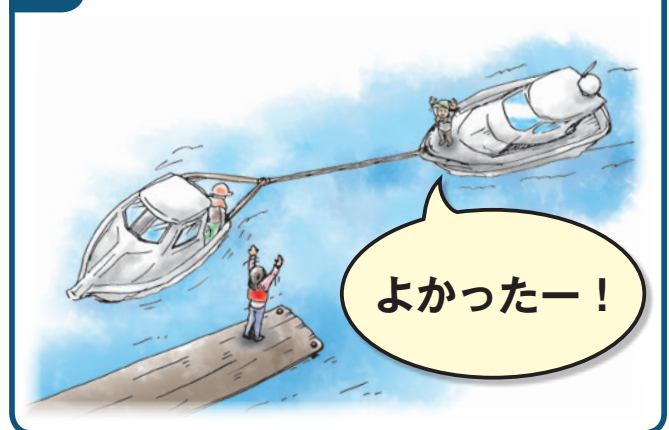
2 定時連絡の実施



3 救助要請



4 救助完了



海での事故は、燃料欠乏などの小さなものと思っても、その後、潮流や風の影響で、転覆したり浅瀬に乗揚げるなど、人命や財産に関わる痛ましい事故に発展する可能性があります。

事故を防ぐには、「自分の命は自分で守る」という意識を常に持ち、万が一の時にはすぐに助けを求めることができる方との連絡設定や定時連絡などがとても重要です。

自分は事故に遭わないだろうではなく、自分の命を常に守るように心がけましょう！！

海へ出る前に気象状況等をチェック！

海上保安庁では、「海の安全情報」を提供しています。各地の風向、風速、波高などの海象や海上工事などの情報が入手できます。スマートフォン用サイトでは地図上で自船の位置も確認できます。

スマートフォン用サイト



携帯電話用サイト



パソコンやスマートフォン、携帯電話から簡単にアクセスできます。

海の安全情報

で 検索

第八管区海上保安本部の主な活動内容

1 京都府内

部署	活動日	活動内容	
舞鶴 保安部	4/27	舞鶴港の遊覧船の安全点検及び海難防止指導（近畿運輸局京都運輸支局と合同）	※
	5/1～5/2	「FMまいづる」及び「FMいかる」へ出演し海難防止啓発	
	4/28～5/6	漁業無線局から海難防止啓発文を放送	
	4/28～5/6	各官公庁等の電光掲示板に海難防止啓発文を表示	
	4/28～5/6	釣り人及びプレジャーボートに対する海難防止指導	
宮津 保安署	4/23	宮津港の観光船の安全点検及び海難防止指導（近畿運輸局京都運輸支局と合同）	
八本部	5/6	赤れんがパークファミリーデー（舞鶴観光協会主催）の来訪者に対する海難防止啓発	

2 その他の県内

部署	活動日	活動内容	
敦賀 保安部	4/21	海上安全指導員と合同で敦賀湾内のプレジャーボートに対し海難防止指導	※
	4/28～5/8	岐阜・滋賀・福井の各県庁SNSに海難防止啓発文を掲載	
	4/26～4/28	マリナー及び貸しボート屋への訪問指導、隣接県の釣具店に対する海難防止啓発	
	4/28～5/6	ミニボート及び釣り人に対する早朝海難防止指導	
福井 保安署	4/26	東尋坊の遊覧船の安全点検及び海難防止指導	※
	5/3	海上安全指導員と合同で福井港周辺のプレジャーボートに対し海難防止指導	
	4/28～5/6	マリナーへの訪問指導、釣具店への海難防止啓発	
	4/28～5/6	ミニボート及び釣り人に対する早朝海難防止指導	
小浜 保安署	4/28～5/6	マリナーへの訪問指導、ミニボートに対する海難防止指導	※
	5/3	若狭和田公共マリナーの船舶オーナーに対する海難防止講習	
	5/5	「はたらく乗り物大集合！」（小浜市主催）で巡視船えちぜん一般公開及び海難防止啓発	
香住 保安署	4/27	浜坂港の遊覧船の安全点検及び海難防止指導	※
	4/28～5/6	レジャー客への海難防止啓発	
境 保安部	4/23～4/27	マリナー及び遊漁船への訪問指導、整備業者及び釣具店への海難防止啓発	※
	4/28	海上安全指導員と合同で鳥取県湯梨浜町沖のプレジャーボートに対し海難防止指導	
	4/28	プレジャーボート団体に対する海難防止講習	
	5/1～5/2	プレジャーボート及び釣り人に対する海難防止指導	
	4/28～5/6	巡視船艇によるプレジャーボートに対する訪船指導	
	4/28～5/6	巡視船ライトメールを使用した海難防止啓発	
	4/28～5/6	隠岐汽船フェリー船内で海難防止啓発文を放送	
4/28～5/6	漁業無線局から海難防止啓発文を放送		
鳥取 保安署	4/27	浦富海岸の遊覧船の安全点検（中国運輸局鳥取運輸支局と合同）	※
	4/28～5/6	マリナーへの訪問指導、釣具店への海難防止啓発	
隠岐 保安署	4/28～5/6	漁協、釣具店、遊漁客等への海難防止啓発	
	4/28～5/6	遊覧船の安全点検	
浜田 保安部	4/26～4/27	漁協及び釣具店への海難防止啓発	
	4/28	海上安全指導員と合同で浜田港周辺のプレジャーボートに対し海難防止指導	
	4/28～5/6	釣り人に対する海難防止啓発	
美保 航空基地	4/28～5/6	プレジャーボートに対するライフジャケット着用指導（ヘリからマイクで呼びかけ）	
	4/28～5/6	機動救難士の潜水訓練等に併せ、釣り人等に対する海難防止啓発	

※印の付いた安全推進活動は取材対応可能です。

平成29年ゴールデンウィーク期間中の活動状況

1 現場での安全指導



釣り人への安全指導



プレジャーボート利用者への安全指導

2 事故防止の呼びかけ



釣具店での安全啓発活動



ラジオ放送による呼びかけ



道の駅での安全啓発活動

3 旅客船等への安全点検



遊覧船への安全点検



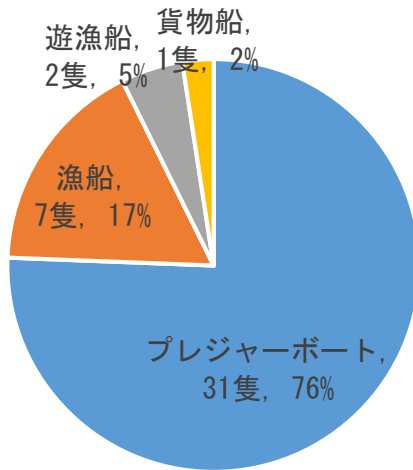
法定備品等の備付け状況確認

八管内のゴールデンウィーク期間中の海難状況

(平成25年から平成29年の累計)

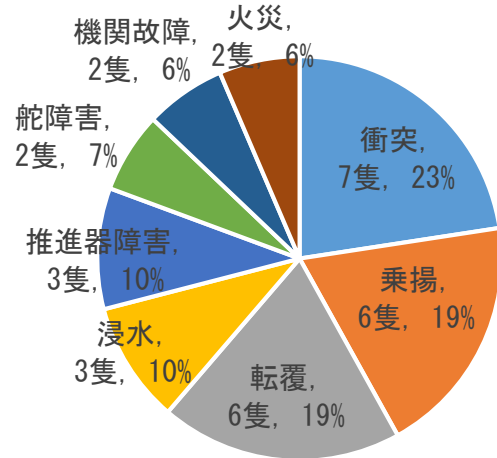
船舶海難

事故船舶の種類



合計41隻

プレジャーボート事故の内訳



合計31隻

【参考】過去5年間のプレジャーボート等(※)事故[単位:隻]

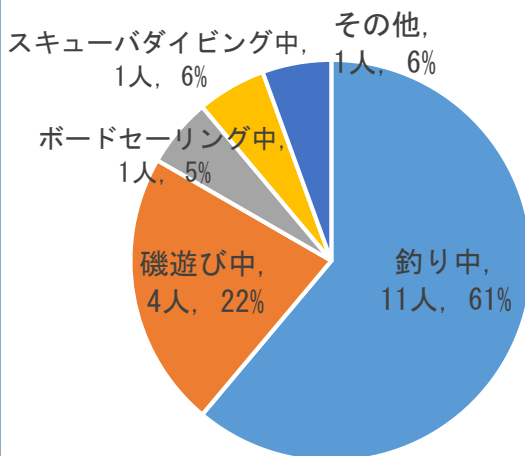
()は、死者・行方不明者数

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
海難隻数	11(0)	8(0)	4(0)	4(0)	6(0)

※ プレジャーボート等:遊漁船、モーターボート、ヨット、水上オートバイ

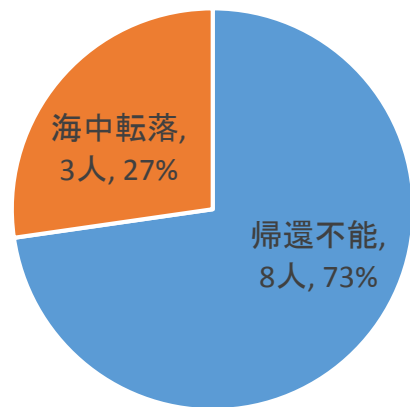
人身海難

海浜事故の活動内容



合計18人

釣り中事故の内訳



合計11人

【参考】過去5年間のマリッジャーに伴う海浜事故(※)[単位:人]

()は、死者・行方不明者数

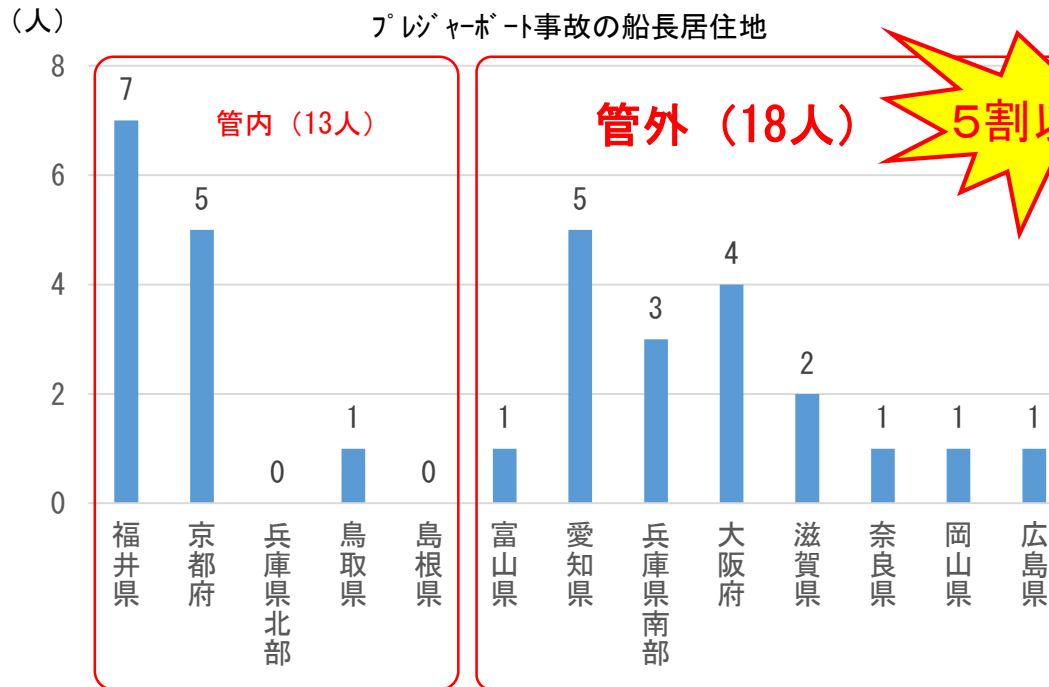
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
海難人数	5(2)	6(1)	0(0)	5(0)	2(0)

※ マリッジャーに伴う海浜事故:釣り、磯遊び、ボードセーリング等

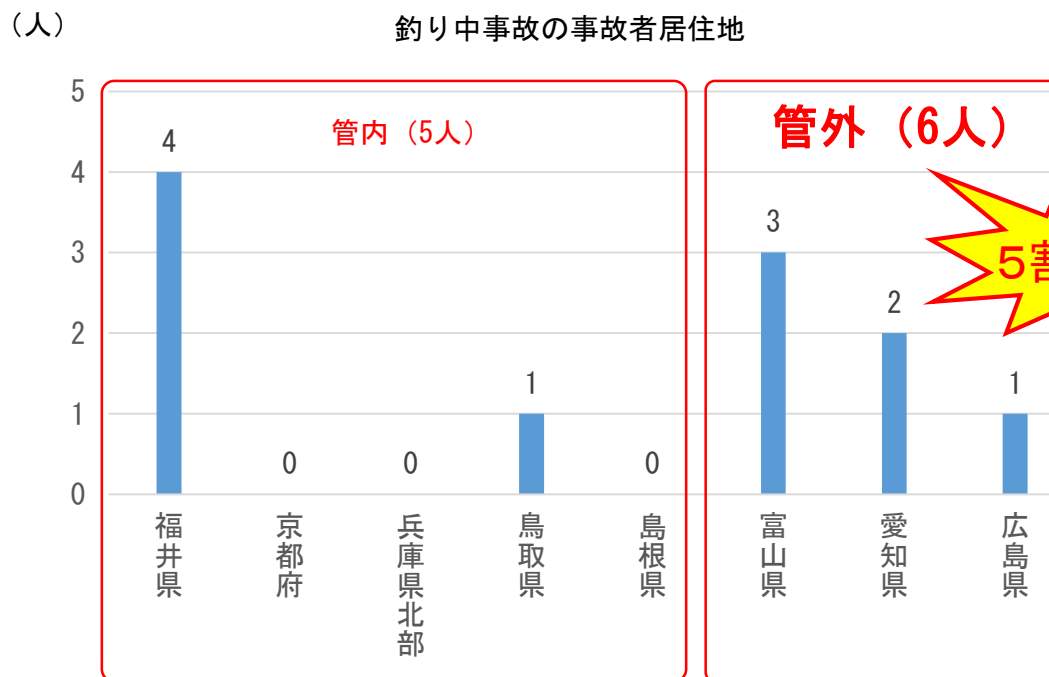
八管内のゴールデンウィーク期間中の海難状況

(平成25年から平成29年の累計)

船舶海難



人身海難

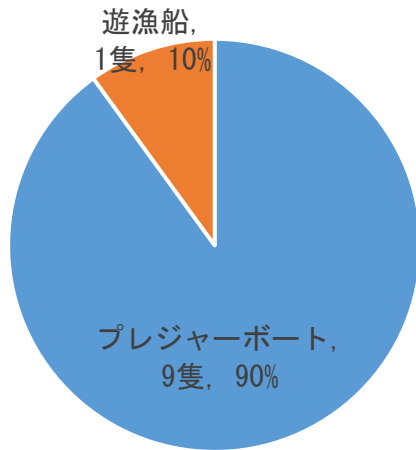


京都府沿岸のゴールデンウィーク期間中の海難状況

(平成25年から平成29年の累計)

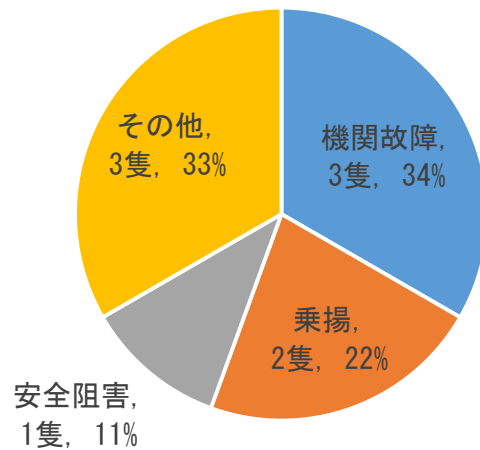
船舶海難

事故船舶の種類



合計10隻

プレジャーボート事故の内訳



合計9隻

【参考】過去5年間のプレジャーボート等(※)事故[単位:隻]

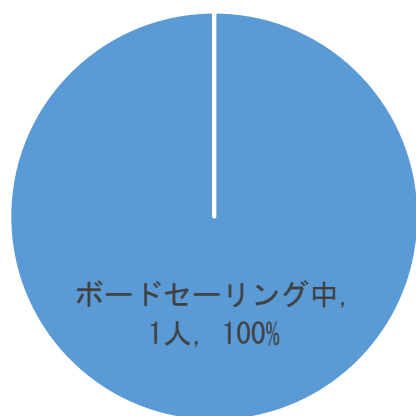
()は、死者・行方不明者数

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
海難隻数	2(0)	2(0)	2(0)	1(0)	3(0)

※ プレジャーボート等:遊漁船、モーターボート、ヨット、カヌー

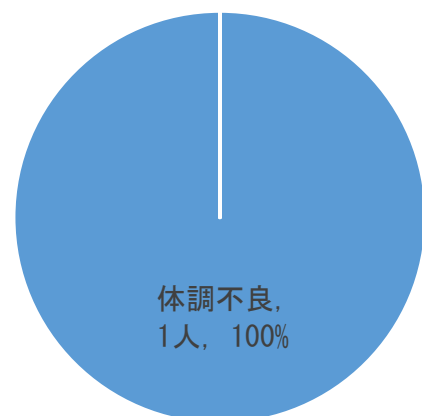
人身海難

海浜事故の活動内容



合計1人

ボードセーリング中事故の内訳



合計1人

【参考】過去5年間のマリッジャーに伴う海浜事故(※)[単位:人]

()は、死者・行方不明者数

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
海難人数	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)

※ マリッジャーに伴う海浜事故:ボードセーリング

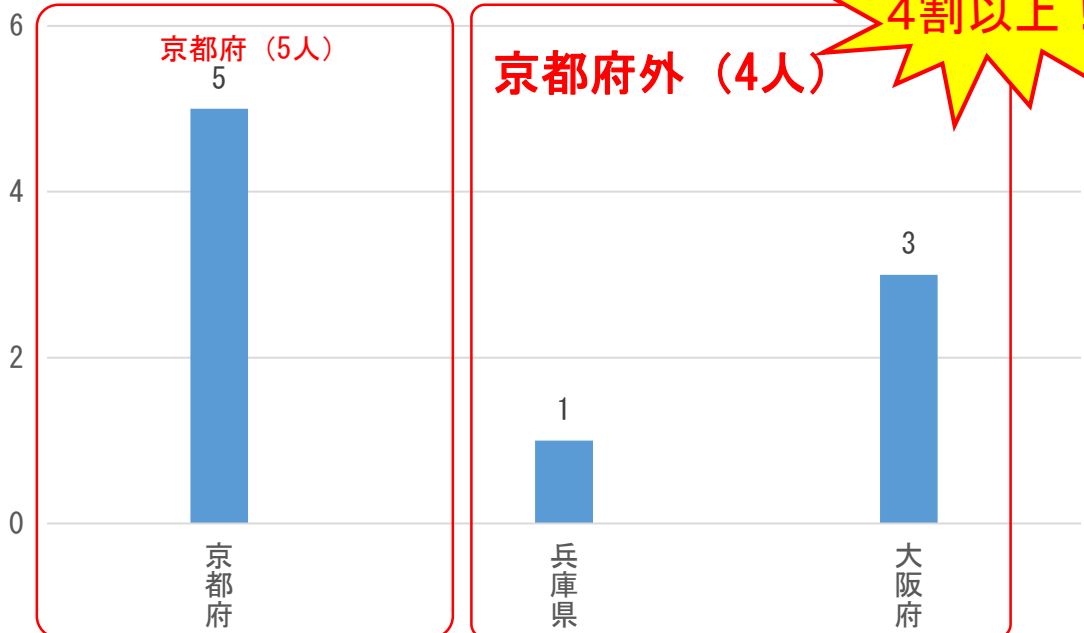
京都府沿岸のゴールデンウィーク期間中の海難状況

(平成25年から平成29年の累計)

船舶海難

(人)

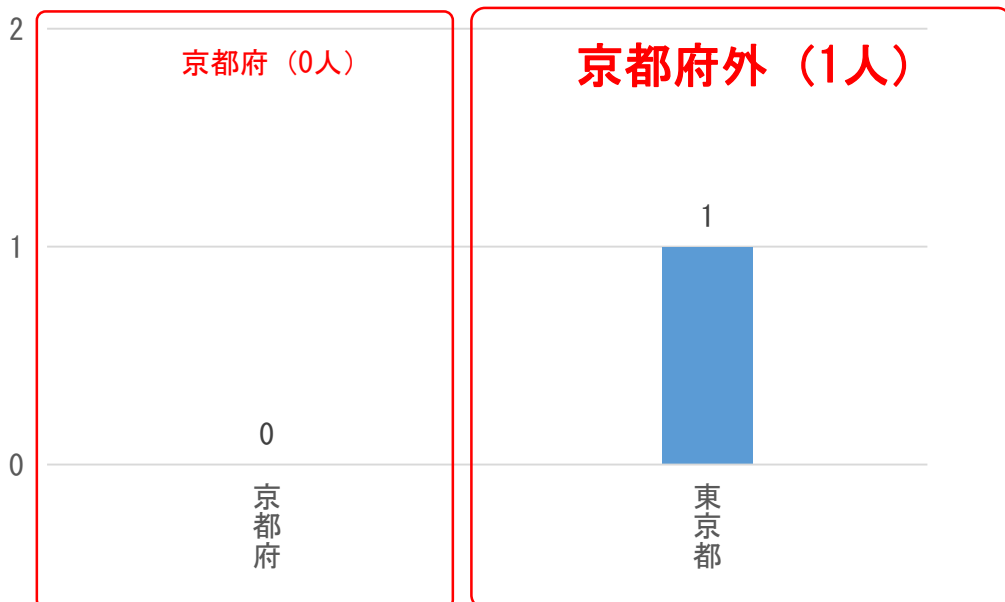
プレジャーボート事故の船長居住地



人身海難

(人)

ボートセリングの事故者居住地



Spring Report 2018

春季（3～5月）における事故の傾向分析



8th REGIONAL COAST GUARD HEADQUARTERS

レポートの概要

本レポートは、春季（3月から5月）における事故防止に資することを目的に、平成25年から平成29年までの5年間に発生した事故状況から、事故傾向について分析を行い、船舶事故と人身事故の特徴や注意点を整理したもので、これをもとに事故防止啓発活動を推進するとともに、漁業協同組合、漁船運航者等への安全意識向上を図る活動を展開します。

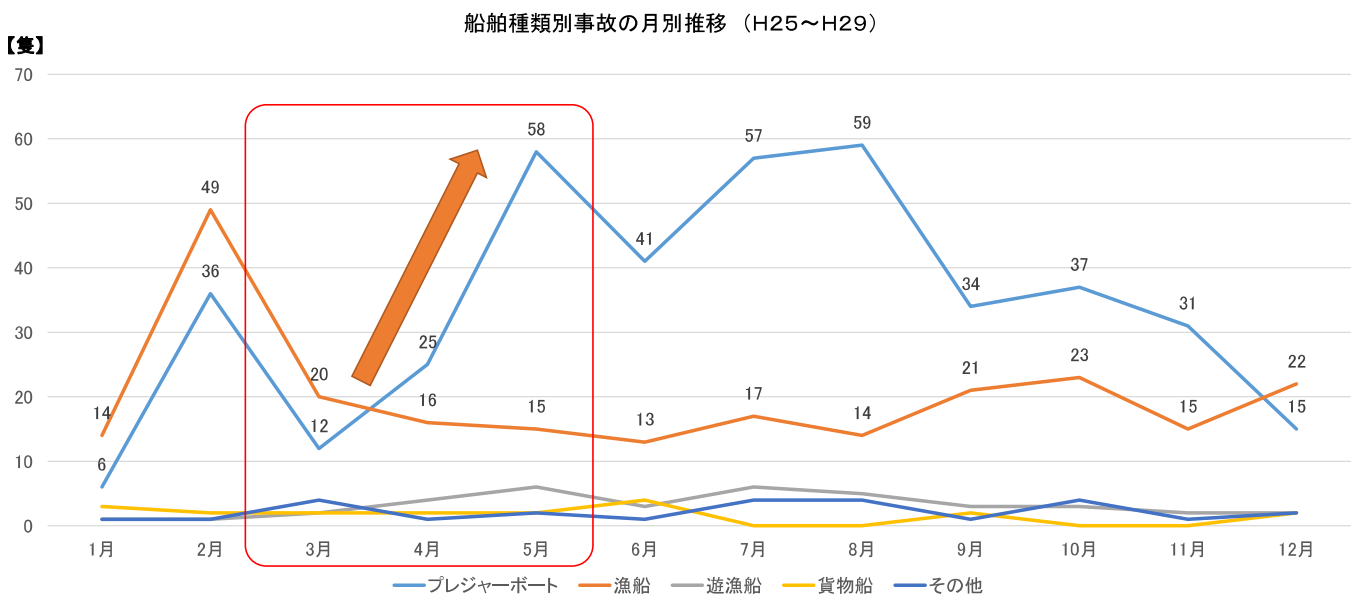
レポートの目次

◆ レポートの概要	1
◆ 船舶事故	2～18
1 春季における船舶事故の発生状況	3
2 プレジャーボート事故の発生状況	4～9
3 漁船事故の発生状況	10～14
4 ミニボート事故の発生状況	15～17
5 まとめ(船舶事故)	18
◆ 人身事故	20～26
1 春季における人身事故の発生状況	21
2 乗船中の人身事故の発生状況	22
3 漁船における人身事故の発生状況	23
4 マリンレジャー海浜事故の発生状況①	24
5 マリンレジャー海浜事故の発生状況②	25
6 まとめ(人身事故)	26

船舶事故

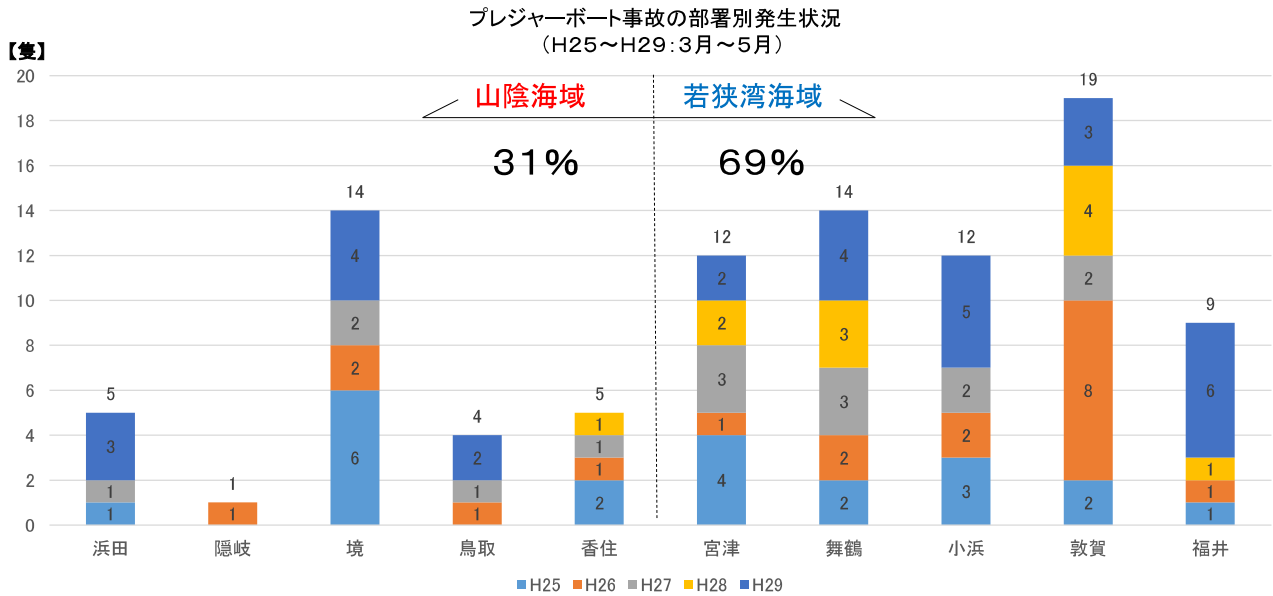
1 春季における船舶事故の発生状況

▶ プレジャーボートの事故隻数は4月から増加する傾向にあり、漁船の事故隻数は季節による変動が少ない



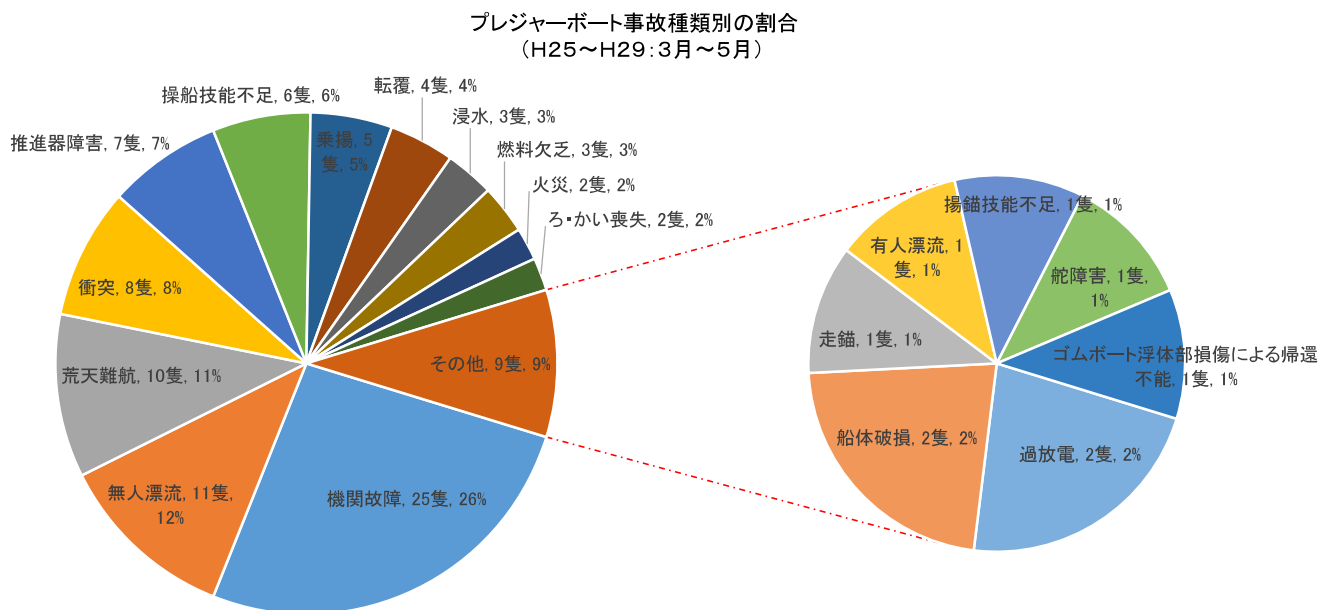
2 プレジャーボート事故の発生状況

- ▶ プレジャーボート事故は、約7割が「若狭湾海域」で発生している
- ▶ 平成29年は、春季において29隻のプレジャーボート事故が発生し、過去5年で最多であった



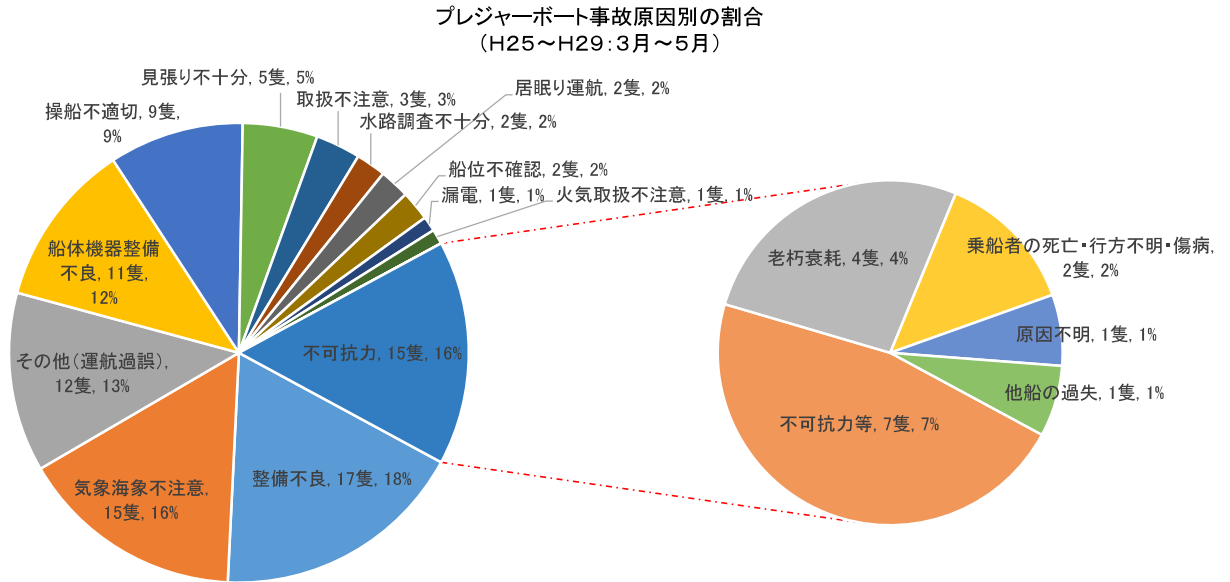
2-1 プレジャーボート事故の発生状況（事故種類）

- ▶ プレジャーボート事故の種類別隻数では、「機関故障」25隻（26%）が最も多く、次いで「無人漂流」11隻（12%）、荒天難航10隻（11%）の順となっている



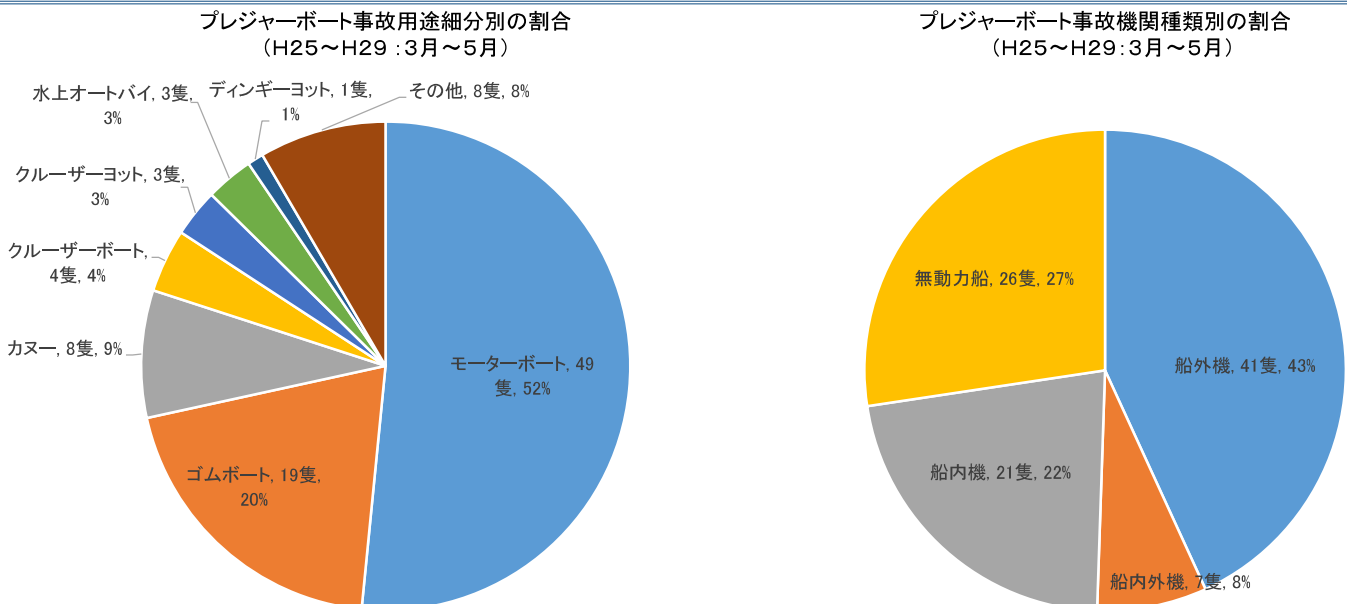
2-2 プレジャーボート事故の発生状況（事故原因）

- ▶ プレジャーボート事故の原因別隻数では、「整備不良」17隻（18%）が最も多く、次いで「気象海象不注意」15隻（16%）の順となっている
- ▶ プレジャーボート事故の原因では、整備不良や気象海象不注意など、人為的要因によるものが全体の8割を占めている



2-3 プレジャーボート事故の発生状況（用途細分・機関種類）

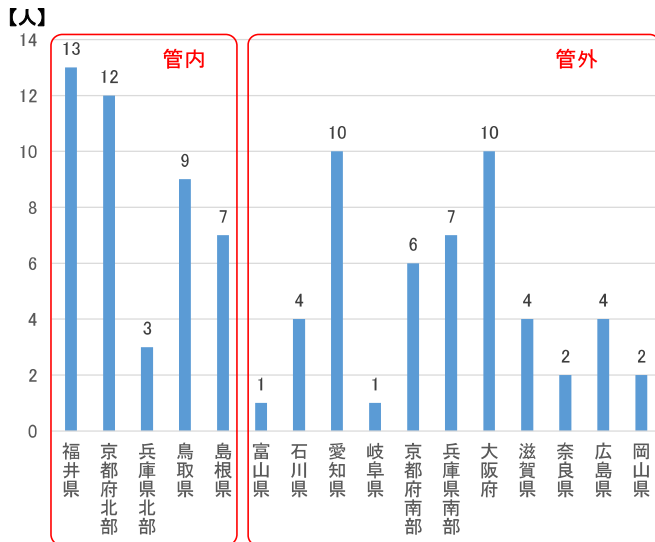
- ▶ プレジャーボート事故の用途細分別隻数では、「モーターボート」49隻（52%）が最も多く、次いで「ゴムボート」19隻（20%）の順となっている
- ▶ プレジャーボート事故の機関種類別隻数では、「船外機」41隻（43%）が最も多く、全体の4割を占めている



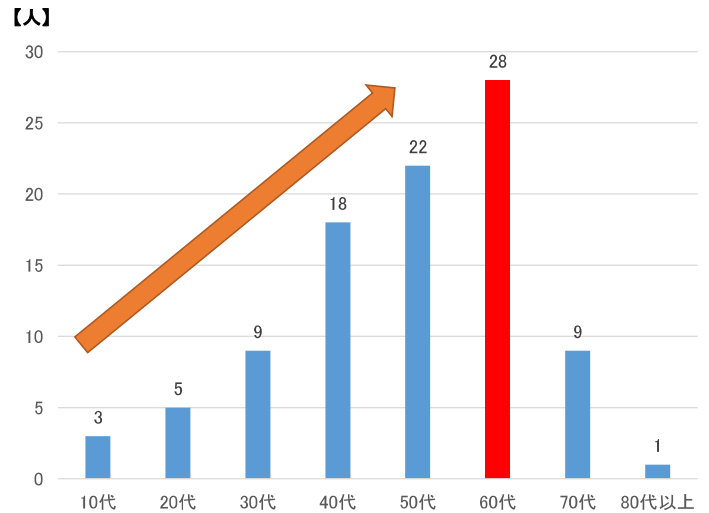
2-4 プレジャーボート事故の発生状況（船長居住地・年齢）

- プレジャーボート事故の船長居住地では、管内居住者が44人（46%）、管外居住者が51人（54%）であり、中京・京阪神地区の居住者が約3割を占めている
- プレジャーボート事故の船長年齢では、「60代」が最も多く、次いで「50代」、「40代」の順となっている

プレジャーボート事故の船長居住地
(H25～H29：3月～5月)



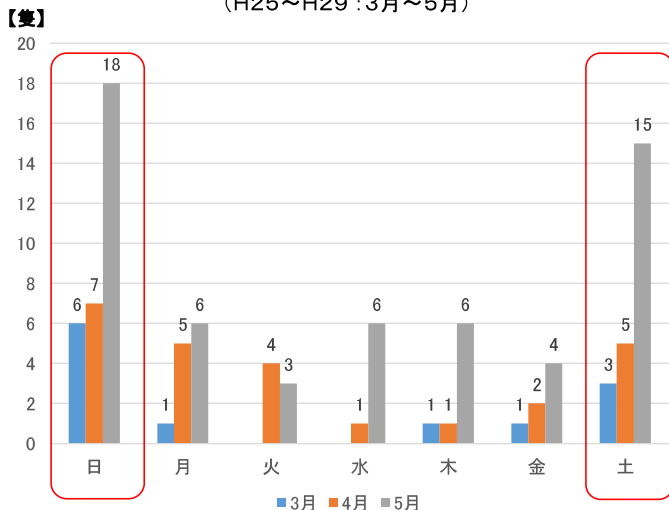
プレジャーボート事故の船長年齢
(H25～H29：3月～5月)



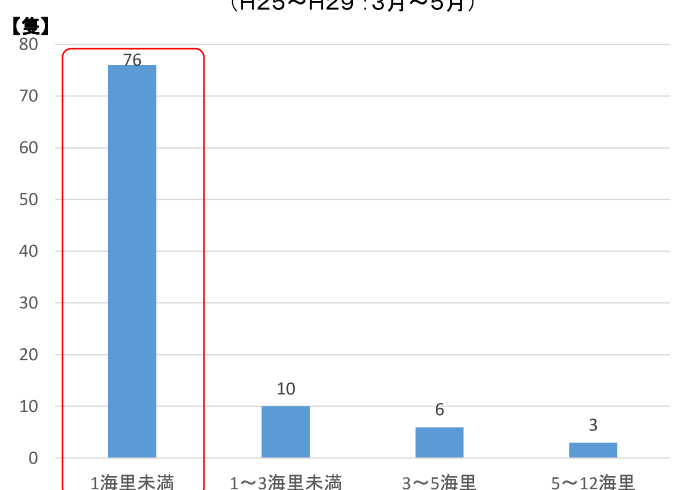
2-5 プレジャーボート事故の発生状況（発生曜日・発生場所距岸）

- プレジャーボート事故の発生曜日別隻数では、土・日曜日において、5月は3月や4月に比べると約3倍になる
- プレジャーボート事故の発生場所別では、「距岸1海里未満」76隻（80%）が最も多く、「距岸1海里未満」だけで全体の8割を占めている

プレジャーボート事故の曜日別発生状況
(H25～H29：3月～5月)

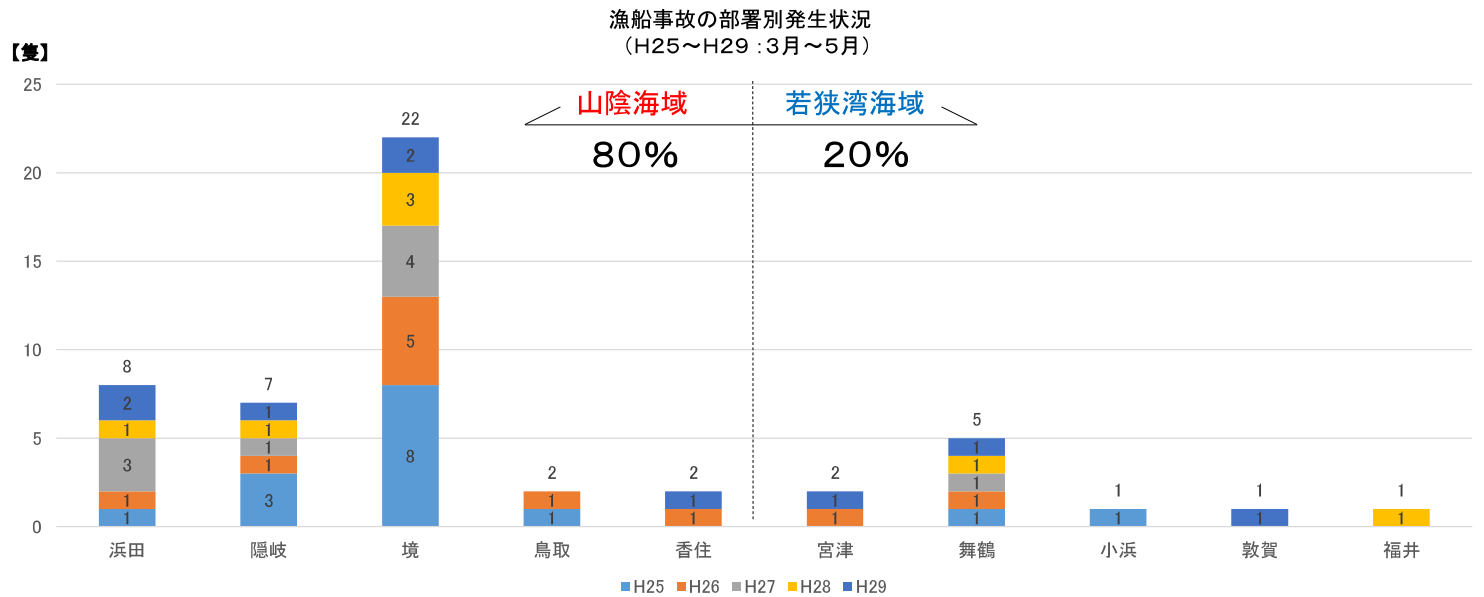


プレジャーボート事故の発生海域
(H25～H29：3月～5月)



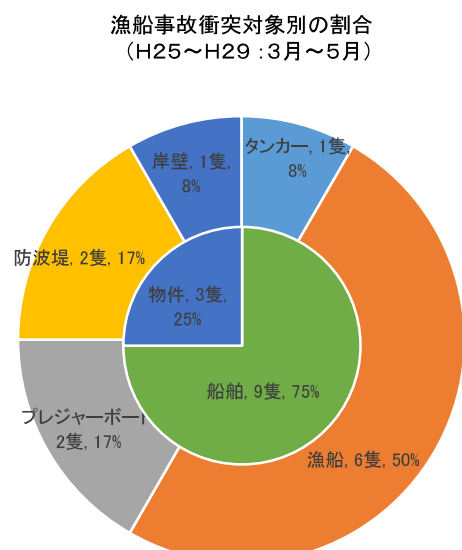
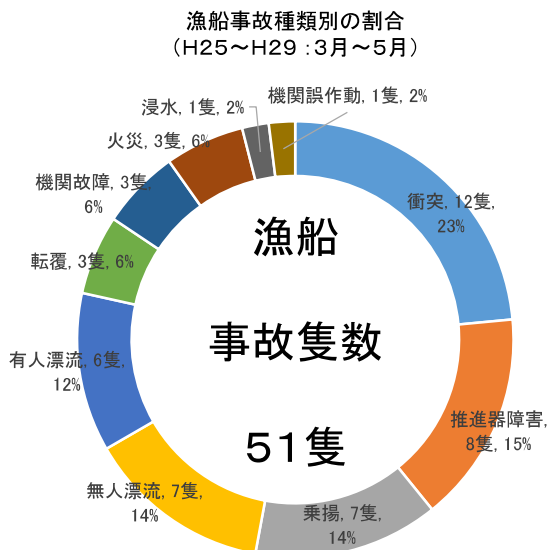
3 漁船事故の発生状況

➤ 漁船事故は、約8割が「山陰海域」で発生している



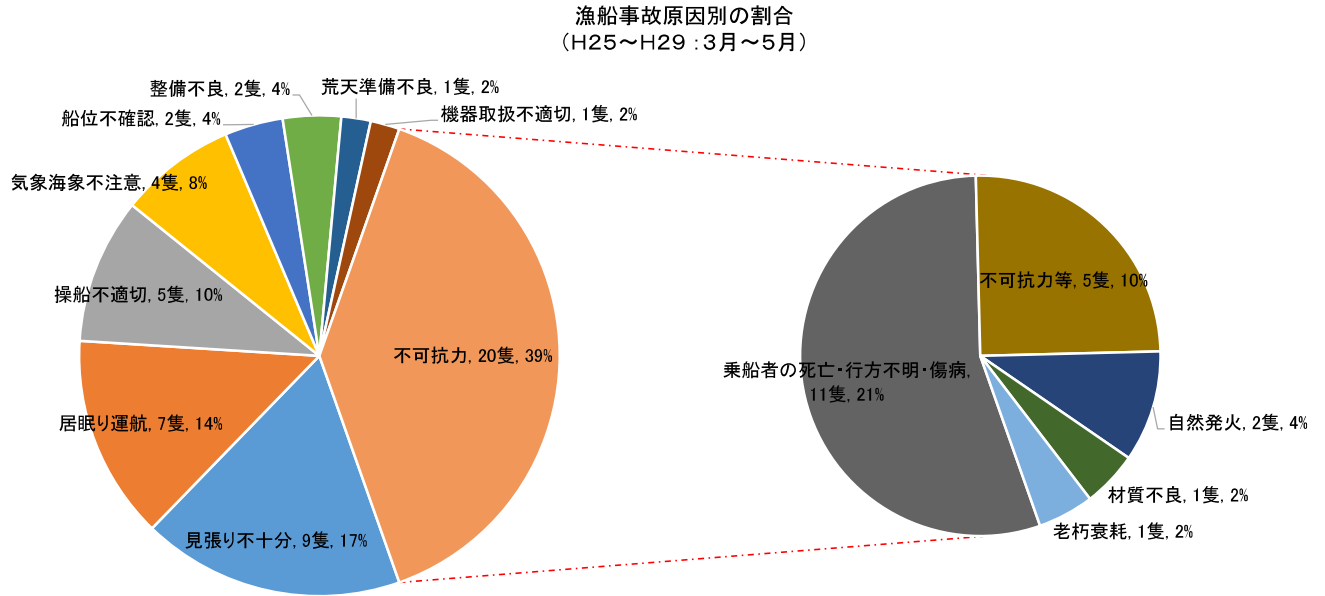
3-1 漁船事故の発生状況（事故種類・衝突対象）

- 漁船事故の種類別隻数では、「衝突」12隻（23%）が最も多く、次いで「推進器障害」8隻（15%）、乗揚7隻（14%）、無人漂流7隻（14%）の順となっている
- 漁船衝突事故の衝突対象別では、「漁船」同士が6隻（50%）で最も多く、次いで「プレジャーボート」2隻（17%）、「防波堤」2隻（17%）の順となっており、衝突対象が船舶によるものが9隻（75%）となっている



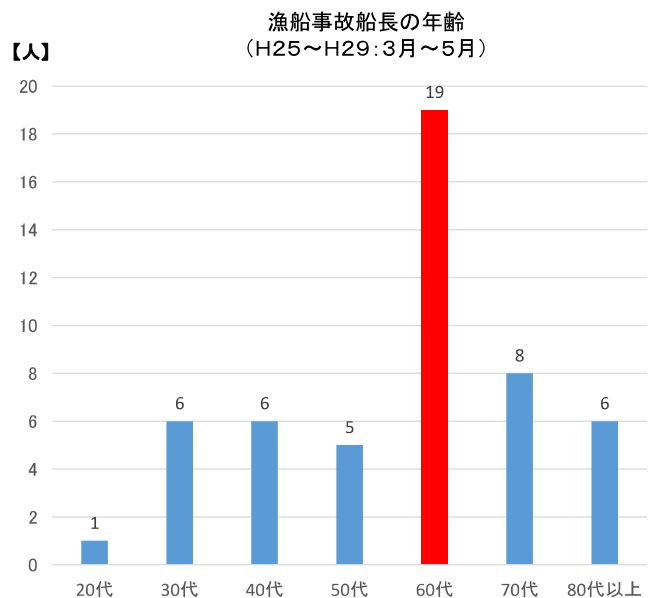
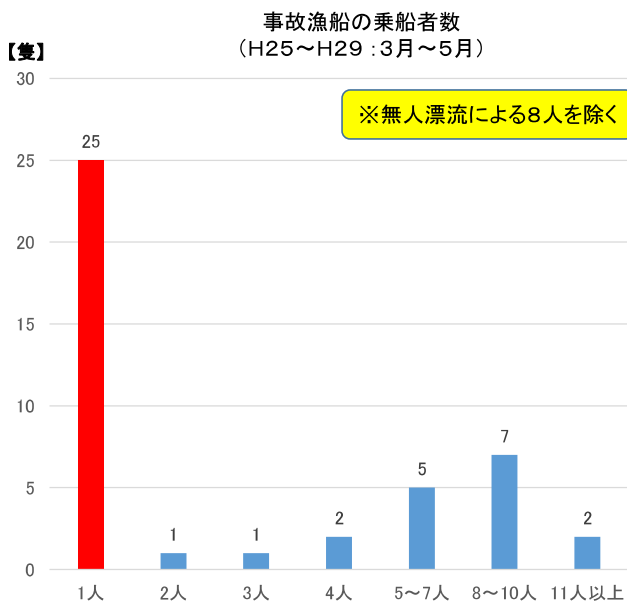
3-2 漁船事故の発生状況（事故原因）

- 漁船事故の原因では、「見張り不十分」9隻（17%）が最も多く、次いで「居眠り運航」7隻（14%）、「操船不適切」5隻（10%）の順となっている
- 漁船事故の原因で不可抗力によるものでは、「乗船者の死亡・行方不明・傷病」11隻（21%）が最も多く発生している



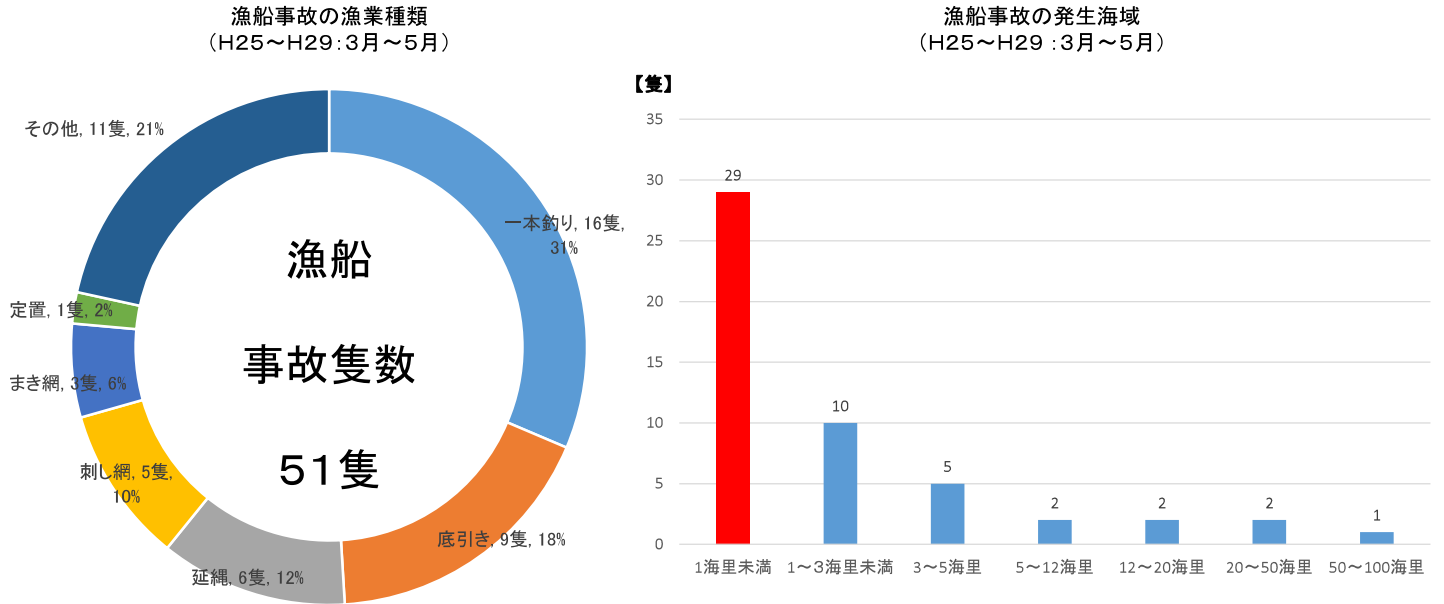
3-3 漁船事故の発生状況（乗船者・船長年齢）

- 漁船事故の乗船者数では、「1人乗り」が最も多く、全体の約6割を占めている
- 漁船事故の船長年齢では、「60代」19人（37%）が最も多く、60代以上が全体の6割を占めている



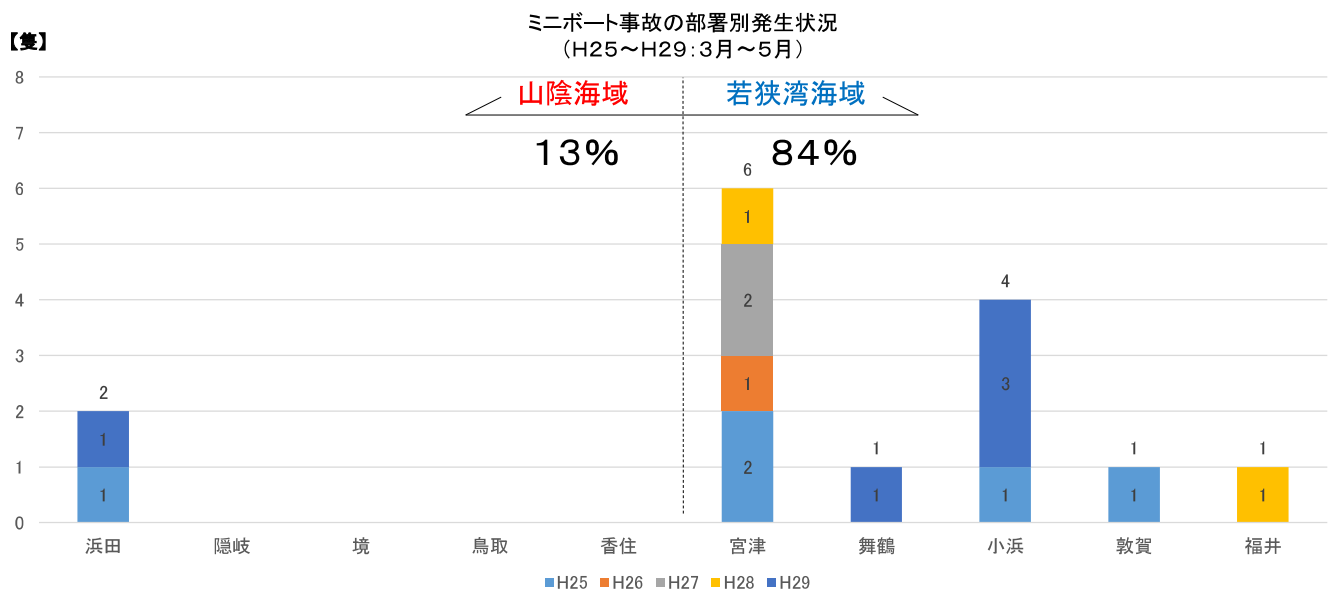
3-4 漁船事故の発生状況（漁業種類・発生場所距岸）

- 漁船事故の漁業種類別では、「一本釣り」16隻(31%)が最も多く、次いで「底引き」9隻（18%）の順となっている
- 漁船事故の発生場所では、「距岸1海里未満」29隻（57%）が最も多く、「距岸1～3海里」だけで全体の7割を占めている



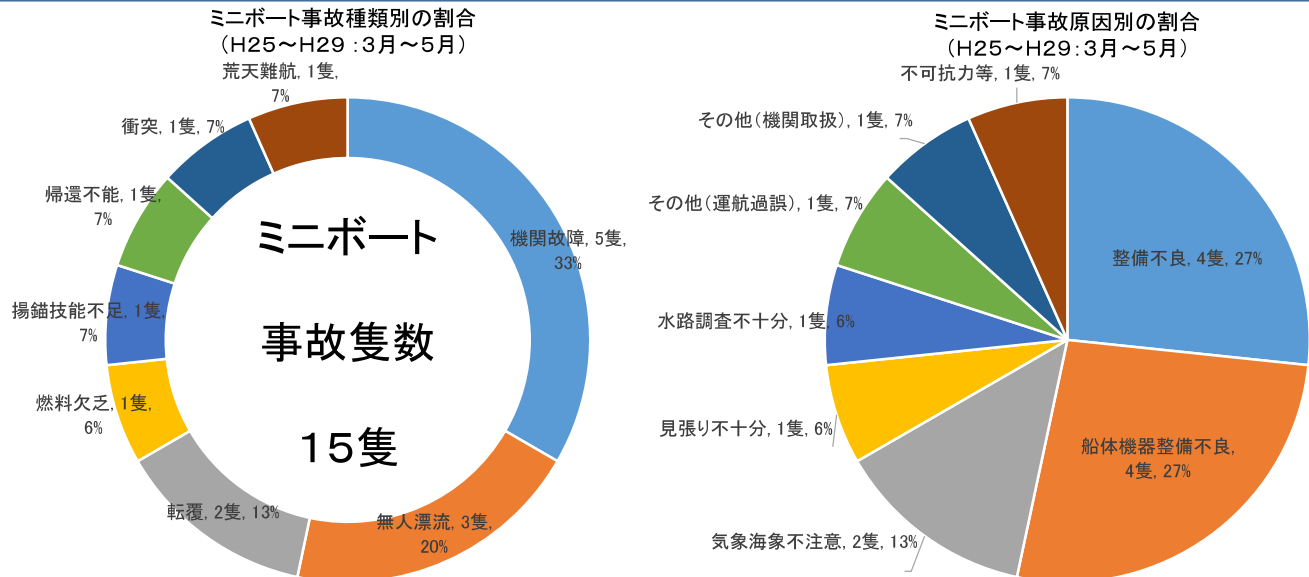
4 ミニボート事故の発生状況

- ミニボート事故は、約9割が「若狭湾海域」で発生している



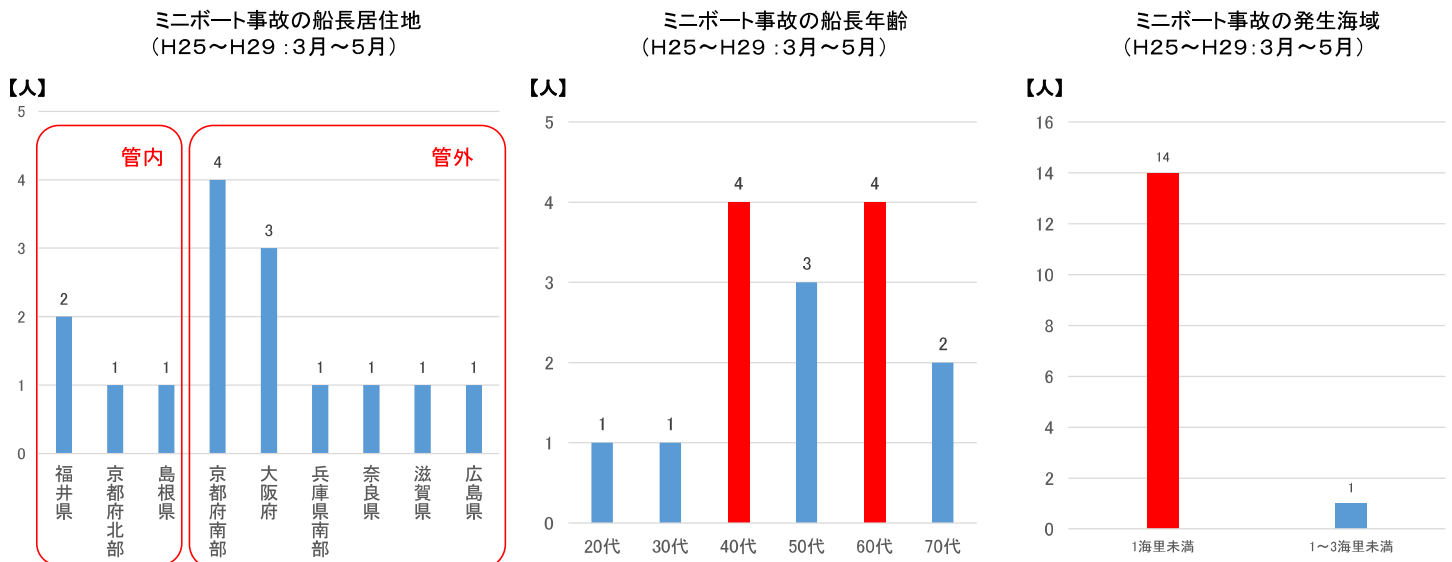
4-1 ミニボート事故の発生状況（事故種類・事故原因）

- ミニボート事故の種類別隻数では、「機関故障」5隻（33%）が最も多く、次いで「無人漂流」3隻（20%）、「転覆」2隻（13%）の順となっている
- ミニボート事故の原因別隻数では、「整備不良」及び「船体機器整備不良」がそれぞれ4隻（27%）で最も多く、全体の5割以上を占めている



4-2 ミニボート事故の発生状況（船長居住地・年齢・発生場所距岸）

- ミニボート事故の船長居住地は、管内居住者が4人（26%）、管外居住者が11人（74%）となり、京阪神地区の居住者が全体の5割を占めている
- ミニボート事故の船長年齢は、「40代」、「60代」がそれぞれ4人（27%）で最も多く、次いで「50代」の順となっている
- ミニボート事故の発生場所では、9割が「距岸1海里未満」で発生している



4 まとめ（船舶事故）

春季における船舶事故の傾向

ポイント

- 冬場使用していなかったプレジャーボートやミニボートが、マリーンレジャーのシーズンイン時に初出港し、機関故障、荒天難航、無人漂流事故の急増が顕著である

⇒シーズンインの初出港に備え、業者による点検整備の推奨、係留場所における安全指導、最新の気象海象の入手、気象現況を考慮した適切な操船、自船の安全対策3か条の徹底

事件事例



気象・海象
天候-晴れ、視程-良好
風-東4メートル
波高-なし

機関故障事例（京都府京丹後市所在の経ヶ岬沖）

発生時刻：平成29年5月 午後9時頃

事故船舶A丸は、経ヶ岬沖でエンジンを止めて、釣りをを行い、場所移動のため、エンジンの再起動を試みるも起動せず、航行不能となった。

本事故の原因は、セルモーターの配線の接触不良によるものであり、普段からの整備や出航前に確実に点検を実施すれば防ぐことができる事故であった。

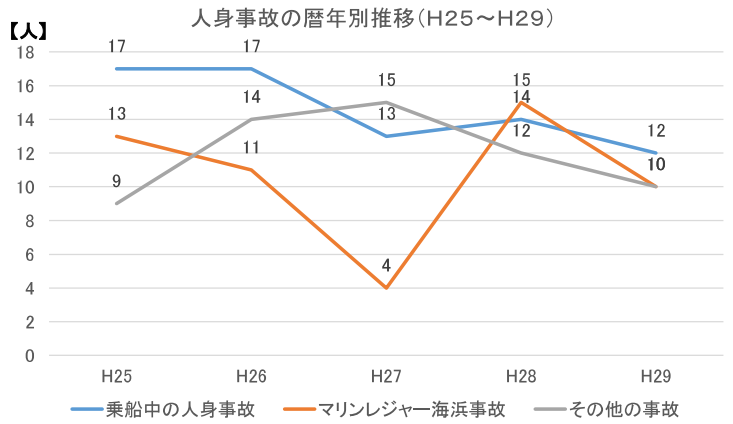
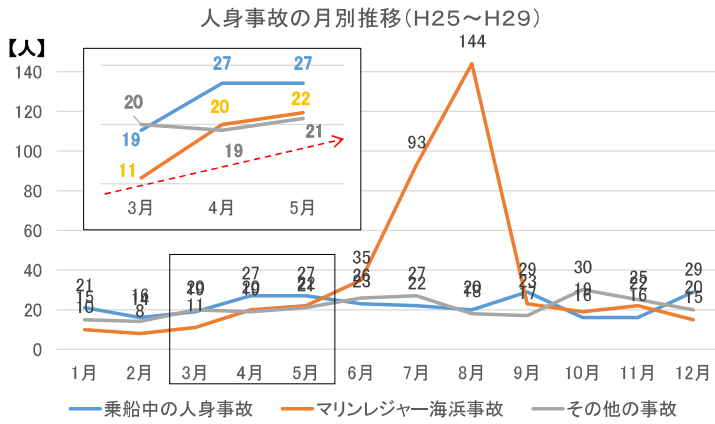
定期的なメンテナンスの実施！
発航前点検は船長の遵守事項です！



人身事故

1 春季における人身事故の発生状況

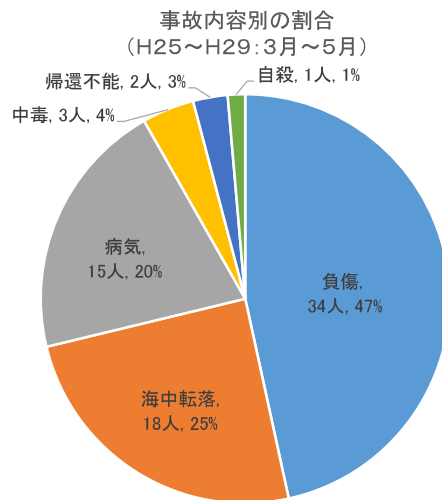
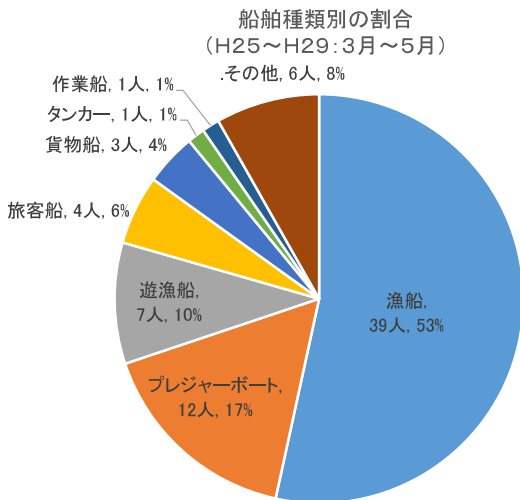
➤ 春季は、「乗船中の人身事故」及び「マリンレジャー海浜事故」が増加傾向にある



2 乗船中の人身事故の発生状況

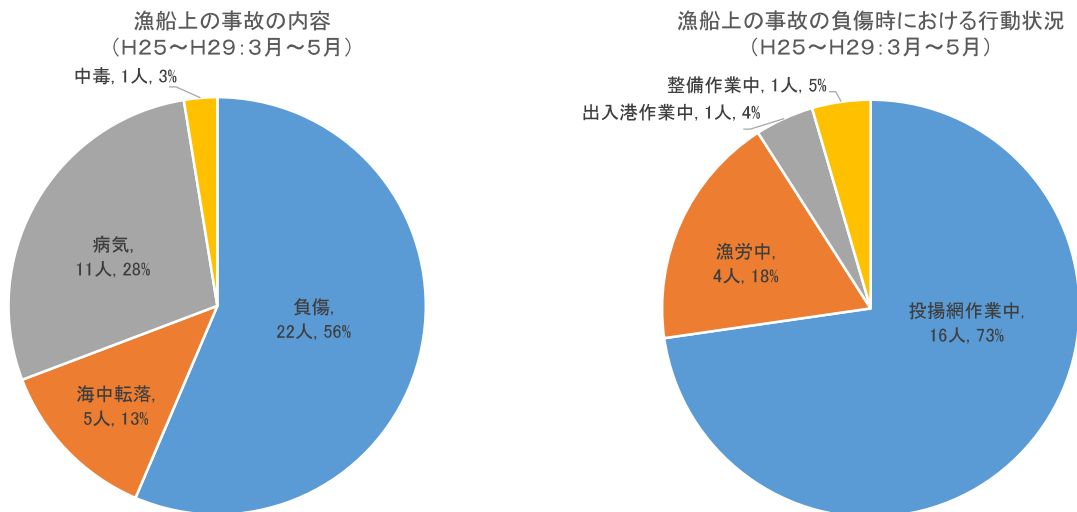
➤ 乗船中の人身事故の船舶種類では、「漁船」39人（53%）が最も多く、次いで「プレジャーボート」12人（17%）、「遊漁船」7人（10%）の順になっている

➤ 乗船中の人身事故の内容では、「負傷」34人（47%）が最も多く、次いで「海中転落」18人（25%）の順となっている



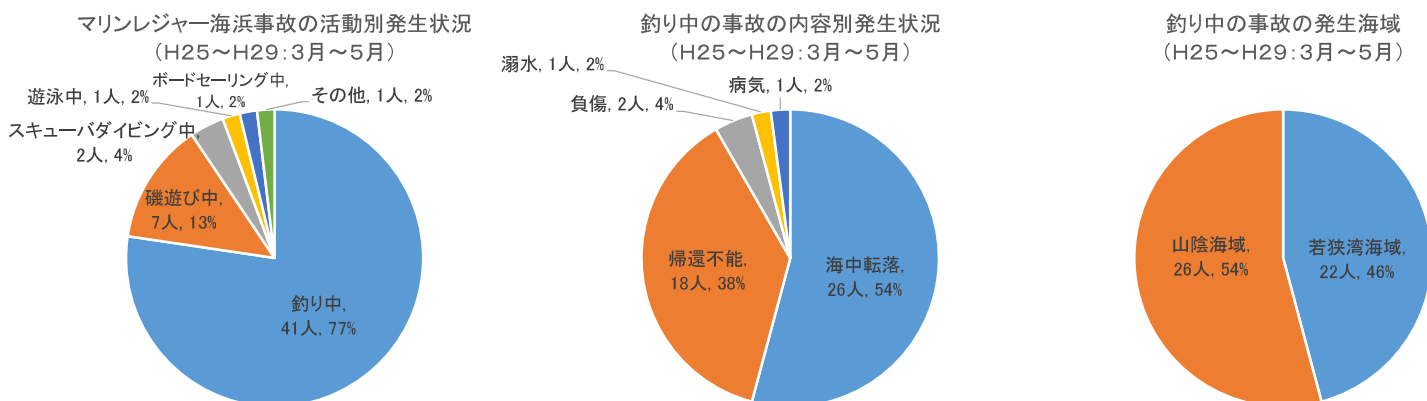
3 漁船における人身事故の発生状況

- 漁船における人身事故の内容では、「負傷」22人（56%）が最も多く、次いで「海中転落」5人（13%）の順となっている
- 漁船における人身事故の負傷時の行動状況では、「漁網の投揚網作業中」が7割で、「漁労中」が約2割を占めている



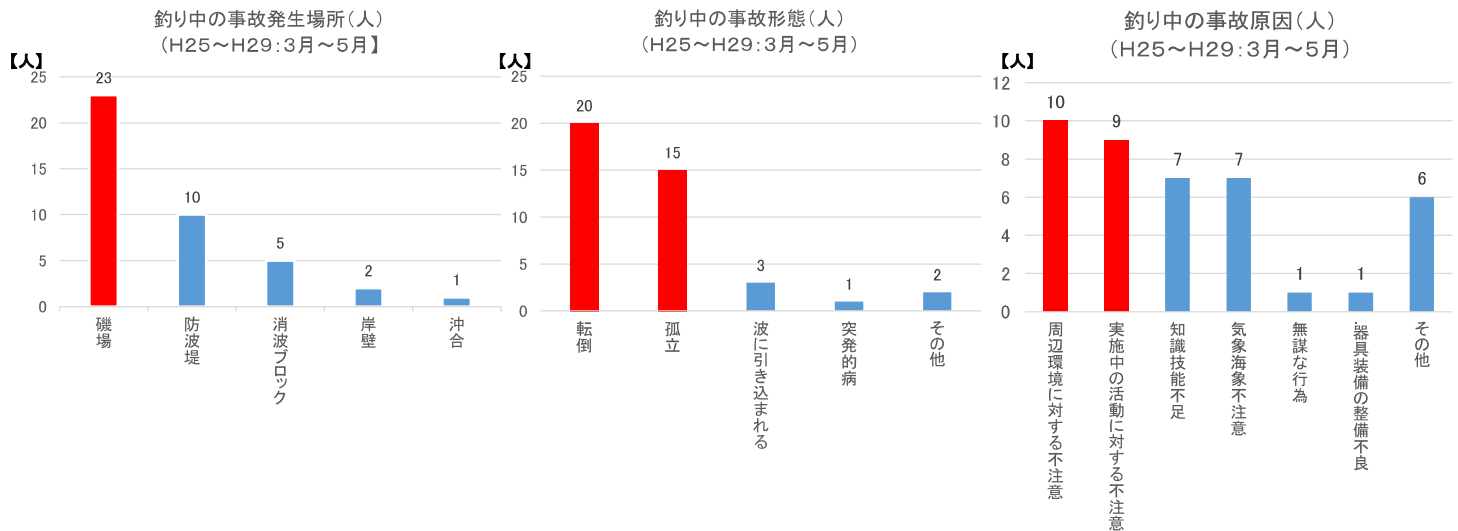
4 マリンレジャー海浜事故の発生状況①

- マリンレジャー海浜事故では、「釣り中」41人（77%）が最も多く、次いで「磯遊び中」7人（13%）の順となっている
- 釣り中の事故では、「海中転落」26人（54%）が最も多く、次いで「帰還不能」18人（38%）の順となっている
- 釣り中の事故において、発生海域別による特徴は認められない



5 マリンレジャー海浜事故の発生状況②

- 釣り中の事故の発生場所では、「磯場」が最も多い
- 釣り中に遭遇した海浜事故の形態では、「転倒」及び「孤立」が多い
- 釣り中の事故の原因では、「周辺環境の不注意」及び「実施中の活動の不注意」が多い



6 まとめ (人身事故)

春季における人身事故の傾向

ポイント

- 乗船中の人身事故では、漁船における事故が最も多く、漁網の投揚作業中に多く事故が発生している
⇒ 作業前の安全確認、作業中の安全確保
- マリンレジャー海浜事故においては、釣り中の事故が最も多く、事故の内容は、海中転落や帰還不能が多い
- 釣り中の事故は、磯場で多発し、転倒や孤立による事故が多い
⇒ 周辺環境に対する不注意、マリンレジャー実施中に対する不注意

事件事例



気象・海象
天候-雨、視程-良好
風-東1メートル
波高-なし

釣り中の海浜事件事例(島根県出雲市所在の河下漁港)

発生時刻:平成29年5月 午前4時頃

岡山県在住の事故者は、島根県出雲市の河下漁港に息子と一緒に訪れ、防波堤の先端で釣りをしていた。

事故者が車に釣り上げた魚を運びに行ったまま帰ってこなかったため、息子が付近を捜したところ、海で浮かんでいる事故者を発見したが、搬送先の病院で死亡が確認された。

当時は月明かりがなく、ヘッドライトを頼りに防波堤を歩いていたことから、防波堤から誤って海中転落したものと考えられる。

磯場や防波堤は滑りやすく、足場が悪いため、**注意が必要です!**





【問い合わせ先】

舞鶴海上保安部警備救難課

警備救難課長 奥野 哲也

0773 - 76 - 4120 (内線 3750)

平成 30 年 4 月 25 日

舞鶴海上保安部

ゴールデンウィーク期間中における旅客船ターミナル等の警戒について

舞鶴海上保安部では、多数の旅行客が見込まれるゴールデンウィーク期間中において、船舶交通の安全確保、不審事象の早期発見、海上犯罪防止の強化を図ると共に、海事関係者等に対して、自主警備、不審物への警戒強化等の要請を行うこととしております。

その一環として、下記のとおり、旅客ターミナル及び舞鶴・小樽間を就航するカーフェリーを重点対象として、「旅客船ターミナル等の警戒」を実施し、その模様を公開しますので、お知らせいたします。

記

1 旅客ターミナル等の警戒

(1) 実施日時

平成 30 年 4 月 28 日 (土) 午後 11 時 15 分から出港までの間

(2) 実施場所 京都府舞鶴市字浜小字浜 前島ふ頭フェリーターミナル

(3) 実施内容 出港前の舷門の警戒

フェリー運航上の都合により、延期又は中止になる場合があります。

2 取材について

取材を希望される方は、平成 30 年 4 月 26 日 (木) までに別添の取材申込票を当保安部警備救難課 (0773 - 76 - 4121) あてに FAX 送付してください。

また、当日 (28 日) は可能な限り、午後 11 時 00 分までに上記ターミナル 1 階フロアにお集まりください。

平成 年 月 日

取材申込票

ゴールデンウィーク期間中における旅客船ターミナル等警戒について

1 実施日時・場所

平成30年4月28日(土)午後11時15分から出港までの間
京都府舞鶴市字浜小字浜 前島ふ頭フェリーターミナル
フェリー運航上の都合により、延期又は中止になる場合があります。

2 取材について

取材を希望される方は、平成30年4月26日(木)までに取材申込票を当
保安部警備救難課あてにFAX送付してください。

また、当日は可能な限り、午後11時00分までに上記ターミナル1階フロア
にお集まりください。

社名 _____

氏名 _____

連絡先 _____

FAX番号 _____

舞鶴海上保安部
警備救難課 担当 小島
電 話 0773-76-4120(内線 3753)
F A X 0773-76-4121



【問い合わせ先】

舞鶴海上保安部交通課
交通課長 山本 康浩
0773 - 76 - 4120 (内線 3791)

平成 30 年 4 月 25 日
舞鶴海上保安部

経ヶ岬灯台の一般公開のお知らせ

～「灯台150周年」の関連行事～

これまで120年もの間、海上交通の安全を守ってきた歴史ある経ヶ岬灯台から、日本海の眺望を満喫していただくとともに、海上保安業務の重要性について理解を深めていただくため、下記のとおり一般公開を行います。

記

- 1 日 時 平成30年5月6日(日) 10:30～14:30
天候不良または海難等発生の際は中止となることがあります。
- 2 場 所 経ヶ岬灯台(京丹後市丹後町袖志)
- 3 行 事
灯台内部の公開
八管カード(経ヶ岬灯台)、灯台絵はがき、パンフレット等の無料配布
- 4 入場料 無料
- 5 経ヶ岬灯台
経ヶ岬灯台は、明治31年(1898年)12月25日に点灯した明治時代に作られた現存する64基の灯台の一つで、その中でも歴史的価値が高い灯台としてAランクに分類されています。
使用しているレンズは、日本最大級の第一等フレネルレンズ(高さ約2.8m、直径約1.8m、重量約5トン)で、現在、全国5箇所の灯台にしか残っていない貴重な物です。

当日、経ヶ岬灯台駐車場等にて、経ヶ岬灯台保存会(京丹後市民を中心とした任意団体)が主催する「第1回経ヶ岬灯台まつり」が開催されます。

【問合せ先】

海上保安学校 事務部

総務課長 菅原 浩嗣

TEL 0773-62-3520



海上保安制度創設70周年

平成30年4月25日

海上保安学校

海上保安学校春季行軍訓練の実施について

海上保安学校では平成30年5月15日、心身の鍛錬を図り、協調性を高め、団体行動の基本を体得させることを目的に、全学生約590名が14個分隊に分かれ、総行程約43キロKmを歩行する行軍訓練を下記のとおり実施します。

記

1 実施日時等

(1) 平成30年5月15日(火) 予備日5月16日(水)

午前8時15分から午後5時15分まで

(2) 訓練指揮官訓示

学生の整列後、訓練指揮官 木室 貴行(きむろ たかゆき)教育訓練部長が学生に対し訓示を行います(撮影可)

訓示終了後、14個分隊各2列縦隊で順次出発します。

2 訓練行程

当校(雁又トンネル経由) しおじプラザ 引揚記念公園 舞鶴自然文化公園() 舞鶴親海公園 しおじプラザ(雁又トンネル経由) 当校(全行程約43km)

舞鶴自然文化公園において到着した分隊から順次昼食を摂ります。

3 参加予定人員

全学生約590名(内女子学生約80名)

4 取材申し込みについて

締切日:平成30年5月11日(金)午後5時まで

連絡先:海上保安学校総務課庶務係(担当 永井)

電話:0773-62-3520(内線204)

5 その他

訓練が中止又は延期となる場合は、当日午前7時までに連絡いたします。

昨年度の状況

訓練整列

午前8時15分頃



分隊毎に行軍を実施することで、心身の鍛錬を図るとともに、協調性を高め団体行動の基本を体得させることを目的としています。

訓練指揮官訓示

午前8時20分頃



訓練整列の後、訓練指揮官(教育訓練部長)により訓示が行われます。

午前8時30分頃



分隊毎に往復約43Kmの行軍訓練がスタートします。

午前10時20分頃～午前11時30分頃



学生達は指定されたチェックポイントで昼食をとり、ゴール地点である海上保安学校を目指し再び歩き始めます。

道中の様子(復路)

午前12時30分頃



学生達はみんなで声をかけあい、対岸に海上保安学校を眺めつつ脱落者がでないよう励ましあいながら先へ進みます。

海上保安学校到着

午後5時10分頃



学生は皆達成感を漂わせた笑顔で、渾身の力を振り絞り最終チェックポイントに駆け足で向かいます。